

20世紀の予言

(1)無線電信及び電話：東京にいる人がロンドンやニューヨークの友人と自由に対話できるようになる。

(2)遠距離の写真：ヨーロッパの自然現象を、天然色で鮮明な画像のまま、東京にいる新聞記者が写真におさめる事ができるようになる。

(3)野獣の滅亡：アフリカの原野に住むライオン・トラなどの動物がいなくなる。博物館(動物園)でしか見ることができなくなる。

(4)サハラ砂漠の緑化：サハラ砂漠が野原に変わる。

(5)七日間世界一周：五十日間要した世界一周旅行が七日間で出来るようになる。また世界中の人間は男女を問わず一回以上世界一周をする。

(7)蚊及びのみの滅亡：衛生事情の進歩によつて蚊やのみの類は滅亡する。

(8)暑寒知らず：暑さと寒さを調和して、適温の空気を送り出す装置が生まれる。

(9)植物と電気：電気力を使つて野菜を成長させることが出来るようになる。えんどう豆は大きくなり、菊・牡丹・バラの花の色は、緑や黒にも出来るようになる。また極寒のグリーンランドでも植物が育つようになる。

(10)人声十里に達す：十里離れていてもお互いに声が伝わり、話しをすることが出来るようになる。

(11)写真電話：電話口に対話者の映像が映る電話が出現する。

(12)買物便法：お店に行かなくても写真電話を使い、商品を見定めて買物をする事が出来るようになる。

(14)鉄道の速力：石炭機関車から電力機関車に進化し、東京から神戸まで二時間半、ニューヨークからサンフランシスコまで一昼夜で行くことが可能になる。

(15)市街鉄道：文明圏の大都会を中心に、空中か地中を鉄道が走るようになる。

(16)鉄道の連絡：五大陸をつなぐ鉄道登場し、自由に通行できるようになる。

(17)暴風を防ぐ：気象上の観測の進歩によつて、一か月前から天災が来ることを予測することが出来るようになる。もし暴風雨が起きた場合は大砲を空中に放ち、暴風雨を雨に変えてしまう。

(18)人の体：運動術や外科手術の発達により、人の体は平均で六尺(182cm)に達する。

(19)医術の進歩：医術の発達により、電気治療や放射線治療レーザーによる手術などが行われるようになる。

(20)自動車の世：馬車が廃止され、自動車は庶民の足として普及する。軍用も馬ではなく、自動車が使用されるようになる。

(21)人と獣の会話自在：動物語の会話の研究により人と動物が自由に会話できるようになる。その後、犬は下男下女に代わつて、人間の身の回りの世話をするようになる。

(22)幼稚園の廃止：学術の進歩により、幼稚園の必要性がなくなり、廃止となる。また家庭に無教育の人間がいなくなり誰でも大学を卒業できるようになる。

(23)電気の輸送：日本は琵琶湖、アメリカはナイガアラの水力を使つて電気をつくり、国内の各地域に輸送できるようになる。

【参考資料】

明治34年(1901)の報知新聞より抜粋